

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一色町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②		
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等の商工会職員が一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に事業所へ訪問し、金融相談・税務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談への指導をすることにより、企業の経営改善が図られ、健全な企業が育成される。このほか、創業も対象とした経営全般に係る相談窓口の設置によって、経営改善に資する指導を行う。	・巡回指導相談実企業数 209件(20件) 相談件数 443件(21件) 窓口指導相談実企業数 320件(22件) 相談件数 767件(41件) 創業指導相談実企業数 3件(3件) 相談件数 11件(11件) ()内の数字は非会員 ・課題解決提案数 32件 ・経営革新承認件数 2件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導件数 (達成度 201.7 %)	600	1210	指標 課題解決提案件数 (達成度 160.0 %)	20	32	個々の事業所を巡回することにより、その事業所ごとの課題等に個別に対応することができ、小規模事業者の経営改善につながった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	小規模事業者により細かい巡回窓口指導ができるように指導内容の質を高めていきたい。	○
記帳継続指導事業	商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行うことにより、適正な税務申告や経理の自動化がなされるようになるほか、計数管理を身に付けることによって経営力の向上にも結び付ける。	記帳指導職員 記帳継続事業者数 45件（指導延回数552回）指導日数230日 記帳指導員 記帳継続事業者数 30件（指導延回数368回）指導日数222日	小規模事業者 記帳継続事業者	指標 記帳継続指導事業者数 (達成度 98.7 %)	76	75	指標 (達成度 %)			小規模事業者に、税制面の改正等が理解されるよう努めた。記帳・税務面のサポートを商工会が行うことにより、小規模事業者は正しい税務知識を習得し経営分析力の向上がみられた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	正しい記帳・税務知識を習得してもらうために今まで以上にきめ細かな指導を実施していく。新たな記帳継続者の獲得に努めるとともに、記帳継続者の機械化への移行を促していく。廃業等もあり来年度は若干目標を下げる。	○
講習会等事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融、税務、経理、労働、情報等の知識を習得させるほか、時勢的な問題を周知させることにより、事業者の資力の向上と円滑な事業運営が図られる。	集団講習会 2回/年 36名 個別講習会 青色記帳指導会 7回/年 131名 税と経理の定例相談日 5回/年 17名 労働保険年度更新説明会3回/49名	小規模事業者	指標 小規模事業者参加者数 (達成度 99.1 %)	235	233	指標 (達成度 %)			専門分野、業種別の問題などテーマを絞り開催し、その事例に問題意識のある事業者をまとめた単位で指導することができた。また個別講習会では、青色記帳指導会を開催し、小規模事業者の正しい記帳、税務申告に貢献した。	総合評価 A	実施評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	アンケート等により事業者のニーズを的確に把握し、経営改善に役立つよう、より効果的な講演講習会を実施していく。また、個人申告者には個別講習会のニーズも高いため積極的に実施していく。廃業等により小規模事業者数が減少しているため、若干目標を下げる。	○
若手後継者等育成事業	当地区では、人口減少に加え、地産地消、小規模事業者数とも減少傾向にあり、人材や資金・資源の都市部への流出が続いている。減少傾向の歯止めには、地域の若手経営者や経営に携わる女性の力が必要であり、セミナーの開催により知識を習得し個々の向上心を高め、自らの事業の持続的発展につなげることで、地域全体の発展へとつなげる。	・資向上セミナー（青年部） 商工会青年部を中心に1回開催 11月24日 参加人員14名 ・資向上セミナー（女性部） 商工会女性部を中心に全3回コースを1回開催、その他にセミナーを1回開催。 8月7日 参加人員13名 9月11日 参加人員15名 10月9日 参加人員15名 12月12日 参加人員8名 資向上セミナー参加者への満足度調査による満足度割合 97.5%	小規模事業者 青年部・女性部	指標 セミナー受講者数 (達成度 108.3 %)	60	65	指標 セミナー参加者満足度 (達成度 121.9 %)	80	97.5	地区内の商工業者の発展や、地域の活性化には若者の力と女性の力は必要不可欠である。そこで青年部員及び女性部員を中心に、資向上セミナーを開催することにより、意識改革や知識を習得することができた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	セミナーについては、集団的な指導となるため、今後とも多くの方が興味をもち参加してもらえようというテーマや内容を考え実施していく。来年度は、開催回数が減少となるため、受講者数の目標値を若干下げる。	○
祭典事業	商工会が主催、共催するイベントに地域工業者を中心に出店を募り、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業（地域資源・観光資源）のPRの機会とするともに、地域の総合的な振興を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた全ての祭典事業が中止	小規模事業者	指標 祭典事業出店者数 (達成度 - %)	-	-	指標 (達成度 %)			新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての事業が中止となり、本来得られるであろうと思われる効果を得ることができなかった。	総合評価 -	実施評価 -	調査結果 -	満足度 -	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし。	目標① 上げる	目標② 実施方法① 実施方法②	来年度は、新型コロナウイルスが収束し事業が実施できると仮定し目標値を上げる。	○
地域振興事業	地域の発展や課題解決のための協議を行う地域懇談会に参加して、地域の現状を把握した上で地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域の発展に寄与する。また、地域振興には、創業者の増加が不可欠ことから創業者支援への取組も積極的に行う。	・西尾市を枠組みとした地域懇談会、西三河地域を中心とした地域懇談会、地域ごとの問題について協議する検討会等に合計17回の参加 ・西尾市、西尾信用金庫、西尾商工会議所、西尾みなみ商工会及び当会の5者連携による創業者支援事業 創業キホン塾1回、研修等2回	小規模事業者	指標 地域懇談会等参加回数 (達成度 64.5 %)	31	20	指標 (達成度 %)			地域の課題等を協議する地域懇談会へ参加することにより情報交換を行い、現在の広域経済状況や地域活性化に係る取り組みなどを把握することができた。創業支援も5者連携により実施することで、効果的に実施できた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止。	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	各会や協議会に参加することが主となるため、目標となる出席回数は主催者側の意向に左右される。地域懇談会で得た情報のなかから地域に役立つ情報を効果的に発信、活用していきたい。	○
商業振興事業	消費者の生活形態の変化や地区外への購買力流出など、地域の商業者は様々な課題を抱えている。そこで、地域商業の活性化・集客力の向上につながるようスタンプ券発行事務、街路灯維持管理事業などの支援を行う。	・大売出し事業の支援（12月・歳末セール） いっしきスタンプ会事業の支援（いっしきスタンプ会会員数32件） ・スタンプ券発行業務支援（いっしきスタンプ会商品券発行業務 発行枚数570枚） ・街路灯維持管理事業（街路灯87本） ・商店街夏イベントについては新型コロナウイルスの影響により中止	小規模事業者 商業者	指標 スタンプ会参加企業数 (達成度 88.9 %)	36	32	指標 (達成度 %)			多くの課題を抱える地域商業者を各方面から支援することにより、地区内商業者の団結力を高めるとともに地域商業の発展を図った。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も地区内の商業団体となるいっしきスタンプ会と協力し、地区内商業者の活性化に協力している。高齢化、後継者不足で廃業する商店もあつたため、来年度の目標を下げる。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一色町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度			補足	目標①	目標②
地域産業活性化事業	当地区では、地場産業としてえびせんべい製造業が盛んであり「三河一色えびせんべい」の名称で地域団体商標を取得。これらのPR活動や組合事業の活動支援を行う。また、自治体が特に観光に力を注いでいることから、観光関連の事業や物産展への支援を行い、外部へのPRを推進することにより企業の発展及び地域産業の活性化を図る。	・西尾市観光協会事業への協力 ・観光関連会議等への参加 ・えびせんべい業界等の県内外イベント、物産展出店支援（年3回参加） ・えびせんべい業界のPR活動支援 ・三河一色えびせんべい組合活動支援（組合員35事業所）	小規模事業者：えびせんべい業者等	指標 イベント・物産展参加回数 (達成度 30.0%)	10	3	指標 (達成度 %)	小規模事業者個人では対応しきれない各事業を、組合活動を通じて実施でき、小規模事業者の経営改善と地場産業振興の底上げに大きく寄与できた。また、物産展への参加を支援し、地域内外へ効果的にPRできた。	総合評価 B	事業実施評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A 目標達成度 D	満足度 A 補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止。	目標① 下げる	目標②	実施方法① 実施方法②	当地区の地場産業であるえびせんべい業界の振興のため、イベント等には積極的に参加し「三河一色えびせんべい」の認知度を上げていく。次年度もイベントの減少が危惧されるため、目標を下げる。	○	
調査・広報事業	・中小・小規模事業者へ関連施策の制度概要を中心とした広報誌を発行し、幅広い周知を図る。 ・地区内事業者のホームページへのリンクを行い、地区内事業者の対外的なPRを行う。 ・中小・小規模事業者関連の施策に反映させるため、必要に応じてアンケート調査を行い、地区内の動向を把握する。	・「商工会報」おしらせ」毎月1回 年12回発行 ・「商工会ホームページ」の事業者ホームページへのリンク（50事業所）	小規模事業者	指標 会報発行回数 (達成度 100.0%)	12	12	指標 (達成度 %)	巡回や窓口指導だけでは、地区内事業者に時節柄にあった施策を届けることは難しいため会報誌を毎月1度発行し、必要とする情報をタイムリーに提供し、商工業者の発展に役立てることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A 目標達成度 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり	目標②	実施方法① 実施方法②	当会の広報誌は、商工会事業者等の報告が中心ではなく、あくまでも小規模事業者にとって有益な情報の発信をメインとしている。今後も、小規模施策等を中心とした広報作りを続けていく。来年度、ホームページのリニューアルを検討しており、事業内容から事業者ホームページへのリンクを取り止める。	○	
雇用促進事業	自治体の合併により当地区は西尾市となったが、旧郡部に在る企業の従業員定着率は決して高いものではない。そこで、地区内事業者の従業員定着率の向上を図るための事業を実施する。また、地区内で地域を担う優秀な人材を育成するための事業にも協力し、将来的な商工業の発展や地域の活性化に寄与する。	・優良従業員表彰、西尾市雇用推進協議会合同企業説明会、インターンシップ関連の会議は新型コロナウイルスの影響により中止 ・商工会珠算検定 9月13日、11月15日、2月21日 3回 受験者9名 ・西三河商工会珠算競技大会 11月3日 ・各種検定事業の紹介、幹線随時に寄与する。	小規模事業者	指標 珠算検定受験者数 (達成度 90.0%)	10	9	指標 (達成度 %)	珠算検定は地域に優秀な人材を育て、地区内事業者への就職が将来的に見込まれれば地域社会の貢献に寄与できると考える。	総合評価 B	事業実施評価 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B 目標達成度 B	満足度 B 補足 B 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止。	目標① 現行どおり	目標②	実施方法① 実施方法②	小規模事業者である珠算教室と連携し、指が珠算良さを改めて認識し受験者が増えるよう努める。地区内でも人手不足との声が多く、何らかの対応を考えたい。	○	
青年部・女性部事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、必要となる知識を習得するための事業や部員間の交流事業、社会福祉事業を通じて地域との関わりを積極的に持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	・西三河支部青年部・女性部事業への参加 6回 ・社会奉仕事業 ・愛知県商工会青年部・女性部連合会事業への参加 ・青年部員49名、女性部員45名 ・地域活性化イベント、部員親睦事業は新型コロナウイルスの影響により中止	小規模事業者 青年部・女性部	指標 青年部女性部員数 (達成度 96.9%)	97	94	指標 (達成度 %)	愛知県商工会連合会や西三河支部商工会で開催される講習会等への参加により、若手後継者及び商工業に携わる女性としての資質を育て、地域商工業の発展が図れた。また、社会奉仕事業や地域イベントなどへの参加により地域社会の発展や活性化に寄与できた。	総合評価 B	事業実施評価 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B 目標達成度 B	満足度 B 補足 B	目標① 下げる	目標②	実施方法① 実施方法②	若手後継者及び商工業に携わる女性の資質を育てるために、必要となる事業を積極的に実施していく。来年度以降、青年部員に定年を迎える部員が多いため、来年度の目標を下げる。	○	
福利厚生事業	中小企業、小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成・従業員の福利厚生に資する。	・中小企業共済364名）、愛知火災共済（30名）、ビジネス保険（14名）の加入推進 加入者408名 ・従業員定期健康診断事業 8月20日～9月9日のうち10日間検診車を巡回させ実施（96事業所）	小規模事業者	指標 各共済加入者数 (達成度 107.4%)	380	408	指標 (達成度 %)	商工業者の経営に役立つ共済の加入促進を行い、企業の安定的な発展を図った。また、健康診断事業は、従業員の安定的な雇用と企業の健全な育成を目指すために実施し、多くの事業者の参加を得ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A 目標達成度 A	満足度 A 補足 A	目標① 上げる	目標②	実施方法① 実施方法②	廃業や従業員の減少による共済契約の解約が見込まれるが引き続き積極的に加入促進を続けていくため、若干目標を上げる。 健康診断事業は、二色でも今年も継続して実施していく。	○	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業者の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	・労働保険事務組合加入者の労働保険年度更新事務（事務組合員72件） ・労働保険事務組合加入者の労働保険料納付事務 ・労働保険事務組合加入者の労働保険各種手続き事務	小規模事業者 労働保険事務組合加入事業所	指標 労働保険事務組合員数 (達成度 102.9%)	70	72	指標 (達成度 %)	人的、時間的に制限の多い中小企業者の労働保険事務を受託し、代行することにより中小企業者の事務処理の負担を軽減するとともに、労働保険料についての理解を深めて頂き、その適正な運用を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A 目標達成度 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり	目標②	実施方法① 実施方法②	引き続き委託事業主の獲得に努める。事務組合に対する需要は確実に存在するため、継続して事業を実施していく。	○	
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	・商工会と青色申告会の共催による青色記帳指導会の実施（7回/年） ・一色青色申告会、西尾法人会一色支部の事務支援、講習会、研修会事業の支援 ・西尾税務連絡協議会に係る事業 ・一色青色申告会191件、西尾法人会一色支部193件	小規模事業者 青色申告会・法人会加入者	指標 青色申告会法人会会員数 (達成度 101.1%)	380	384	指標 (達成度 %)	青色申告会の活動により事業者は正しい帳簿記録に基づいた決算及び申告を行い、効果は大きかった。西尾税務のたよりへの金戸配布により、税に関する理解を深められ地域に貢献できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A 目標達成度 A	満足度 A 補足 A	目標① 下げる	目標②	実施方法① 実施方法②	青色記帳指導会は小規模事業者にとって必要である。研修会は事業者にとって必要であり来年度も実施したい。青色申告会は廃業による退会者が多いため来年度は目標を下げる。	○	
産業団体等指導事業	各種業界団体等、産業振興団体の活動をサポートして、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	・西尾労働基準協会一色分会の活動をサポートして、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。 ・一色鉄工会の事業支援（会員数19名） ・一色ガス協同組合の事業支援（会員数4名） ・一色商工友会（青年部08）の事業支援（会員数34名） ・愛知建連西尾支部の事業支援（会員数236名）	小規模事業者 左記団体加入者	指標 左記団体構成員数 (達成度 101.5%)	394	400	指標 (達成度 %)	各種業界団体、協同組合、地域貢献団体の事務等を支援することにより、同業者及び異業種間での意見交流が活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A 目標達成度 A	満足度 A 補足 A	目標① 上げる	目標②	実施方法① 実施方法②	商工業事業を実施していくにあたり、各種商工団体等との連携は重要であることから今後も産業団体の支援を積極的に継続していく。愛知建連は、加入希望者が多かったため、来年度の目標値を若干下げる。	○	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。